

NPO 法人 ささえあい医療人権センター
COML 理事長

辻本 好子 先生

Consumer **O**rganization for **M**edicine & **L**aw

辻本 好子

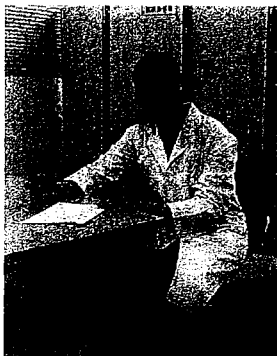
プレゼンテーションの要旨

- ・ COMLの活動
- ・ 18年間の患者の意識の変遷
- ・ 電話相談に届く看護の善情
- ・ 患者が看護に望むこと
- ・ 期待と要望

COMLとは？

- 1 自覚
- 2 意識化
- 3 言語化
- 4 コミュニケーション能力
- 5 ひとりで悩まないで

COMLの活動(2008年3月末現在)



SP活動:950回(OSCE230回)

相談:43217件



コミュニケーション講座 :49回(出前11)

病院探検隊:61回



患者塾:154回

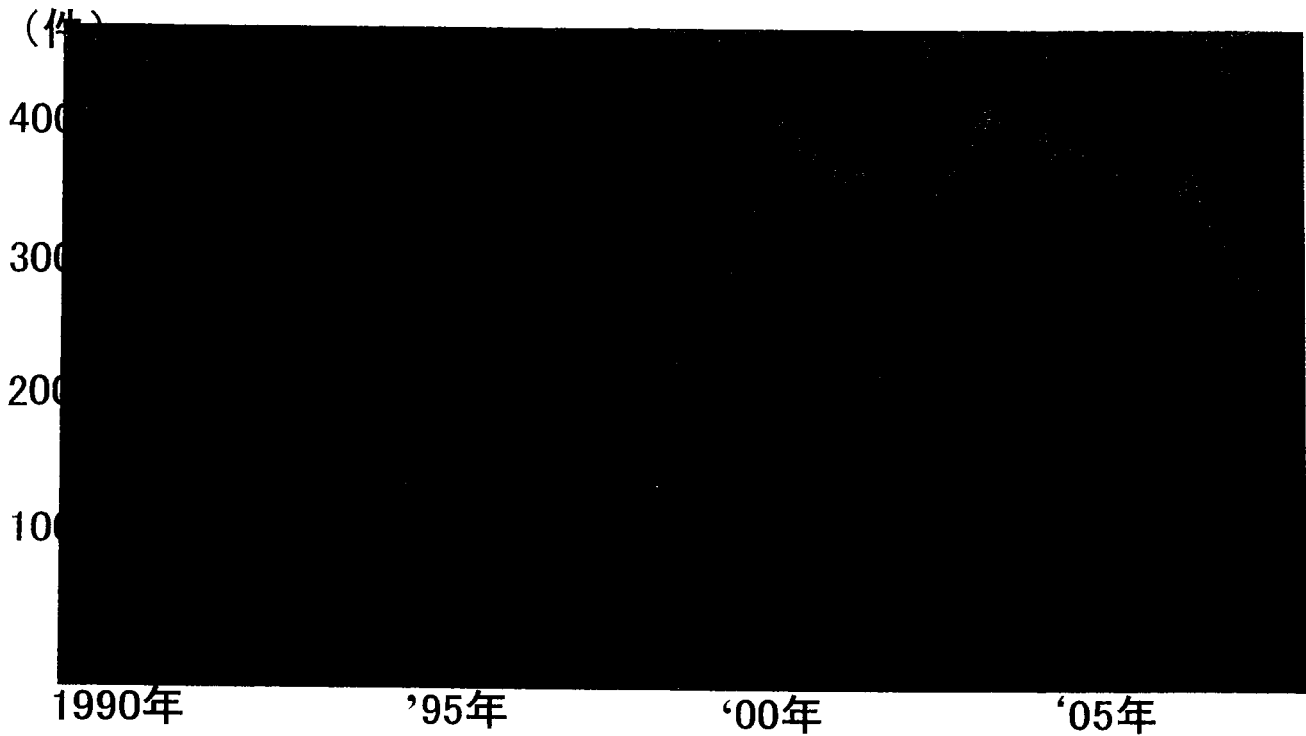


講演:2364回

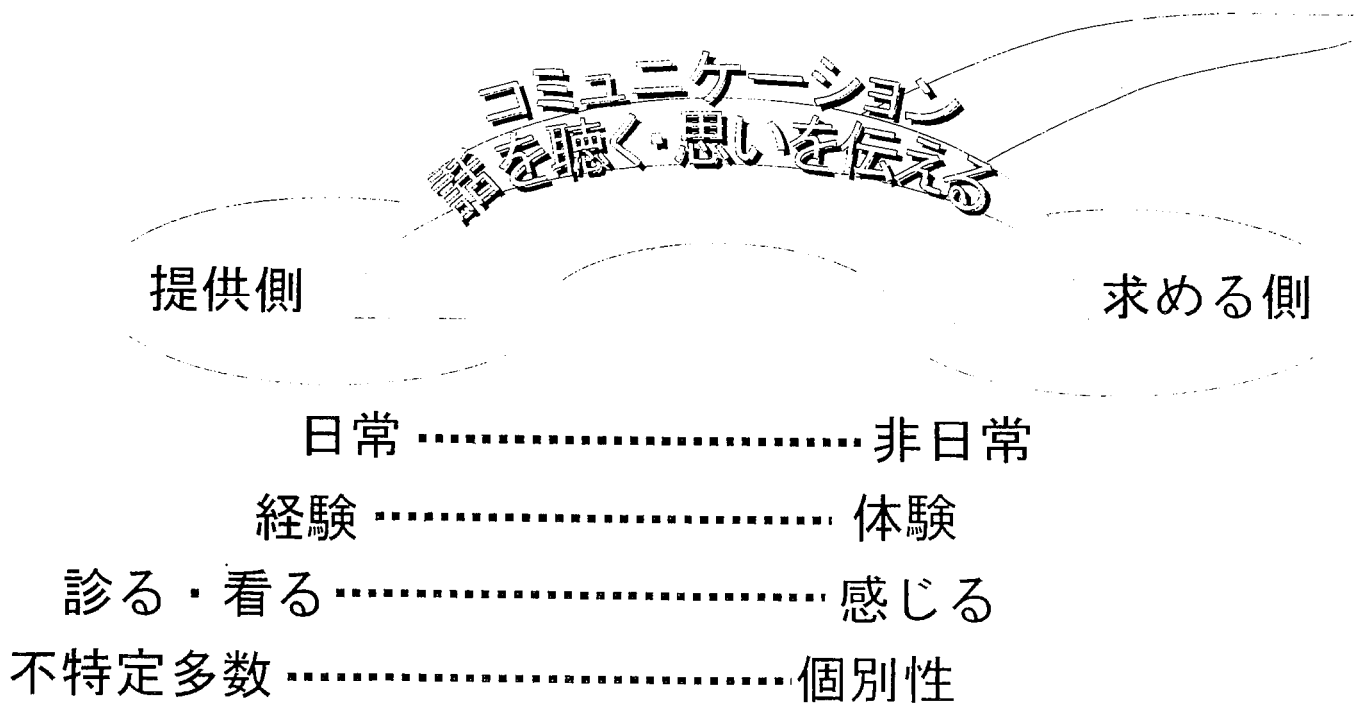
研修や活動紹介:22回



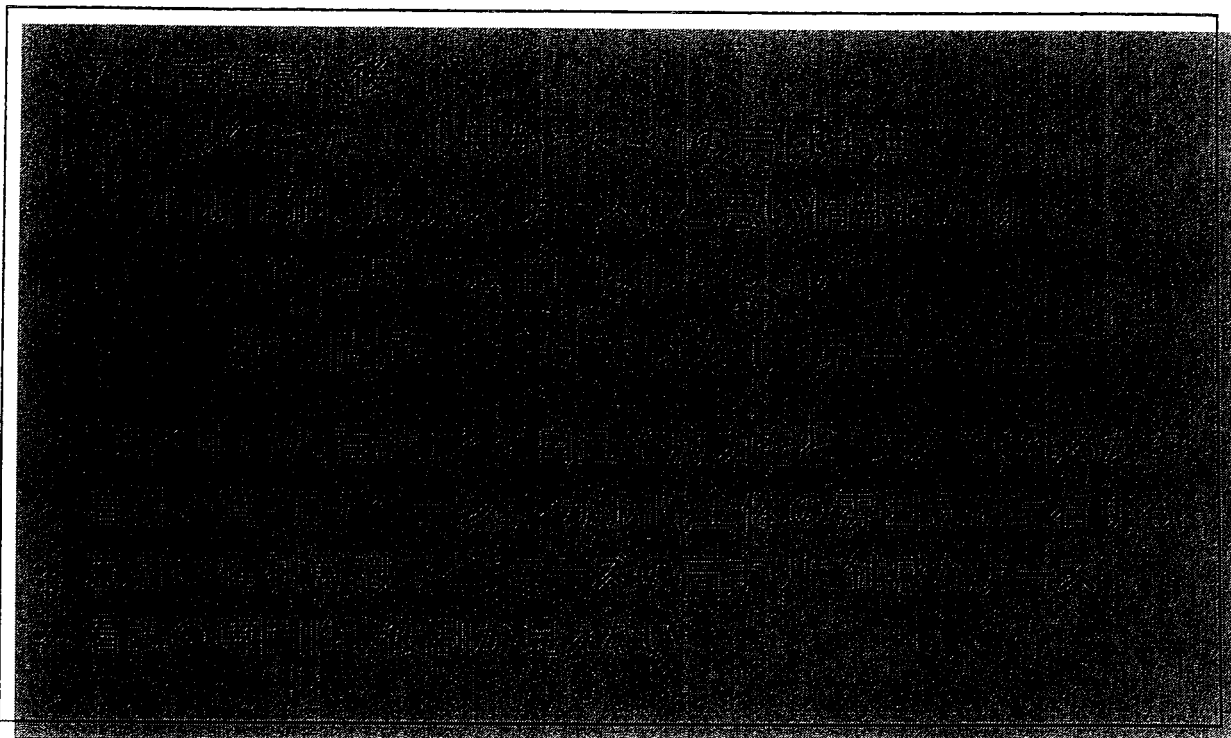
電話相談件数の推移



患者と医療者の深い河・異文化圏



患者・家族の声

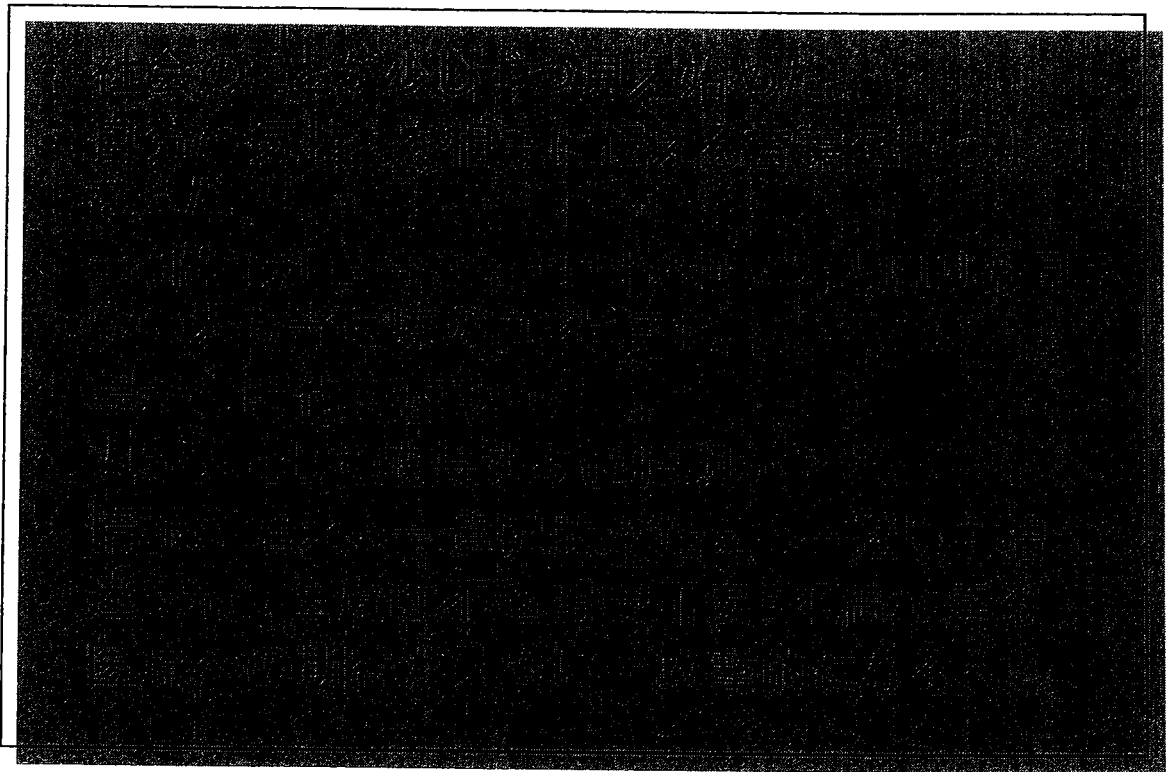


相談に届くナースの苦情に見る“ズレ”

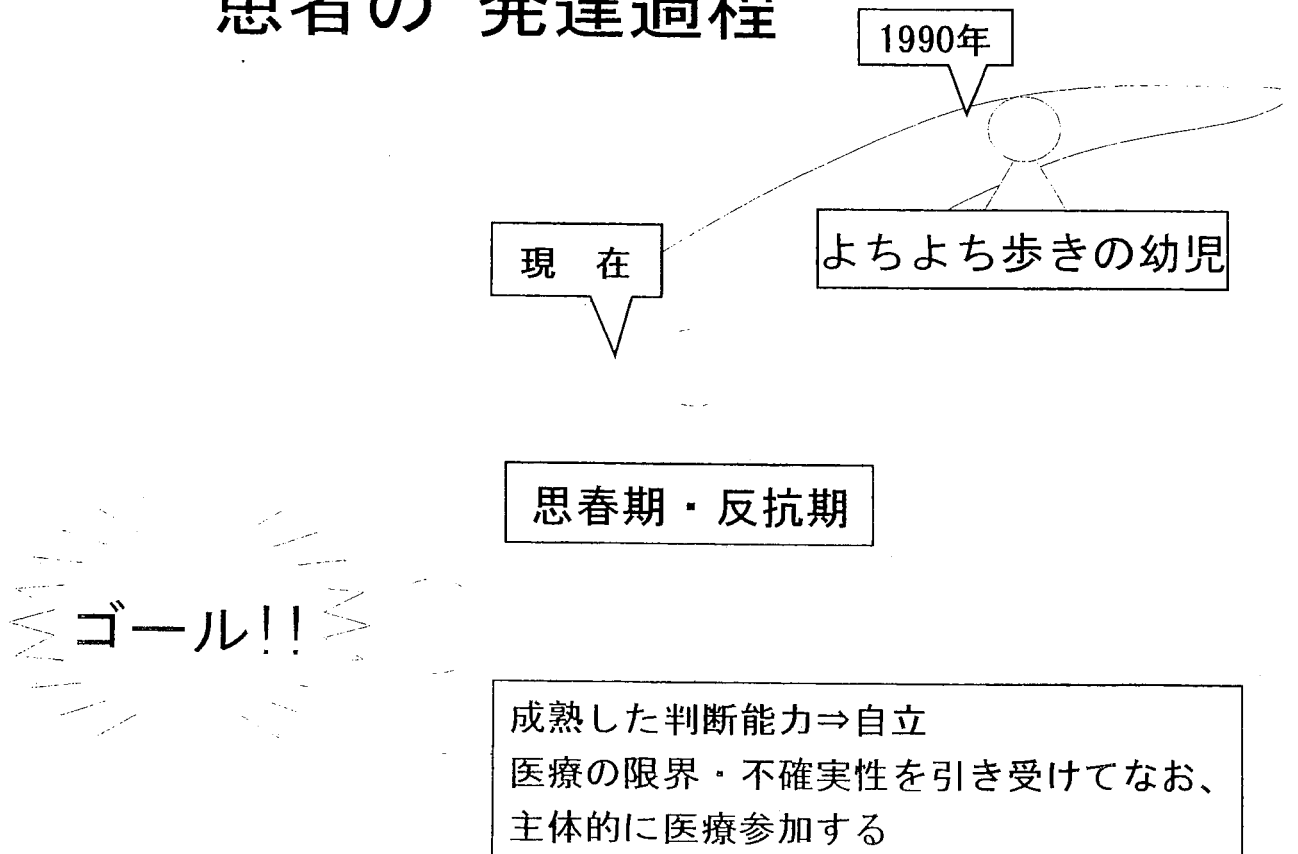
- パーキンソン病の患者の前で・・・
- ガラス越しに見るNICUの日常
- エレベータの中のナース同士の会話
- 目の前でドクターとナースが対立する
- 大腸ポリープ摘出後、ナースの連携の悪さで・・・
- がん末期患者の病室に消臭剤
- 洗髪時の紙オムツ ひとことが足りない
- 「飯食った？」「何やってるの！」
- 質問しても意味なく笑ってごまかした

笑顔・まなざし・ことば

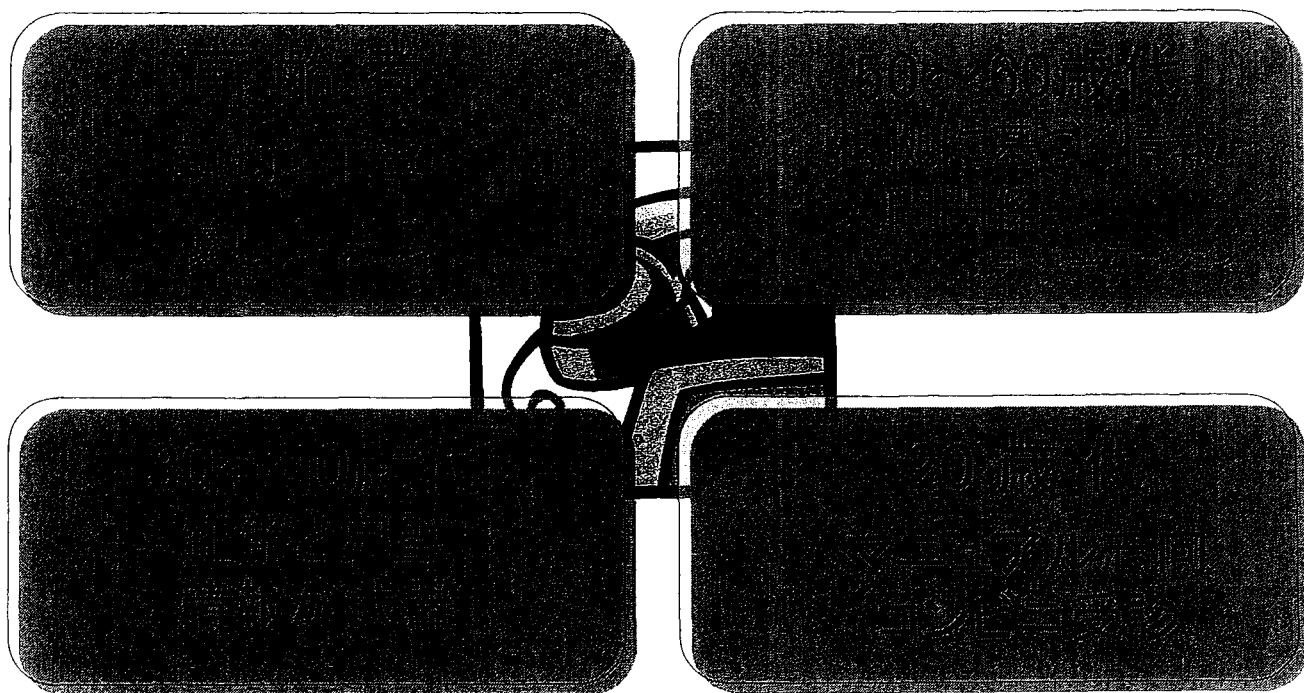
患者を取り巻く背景



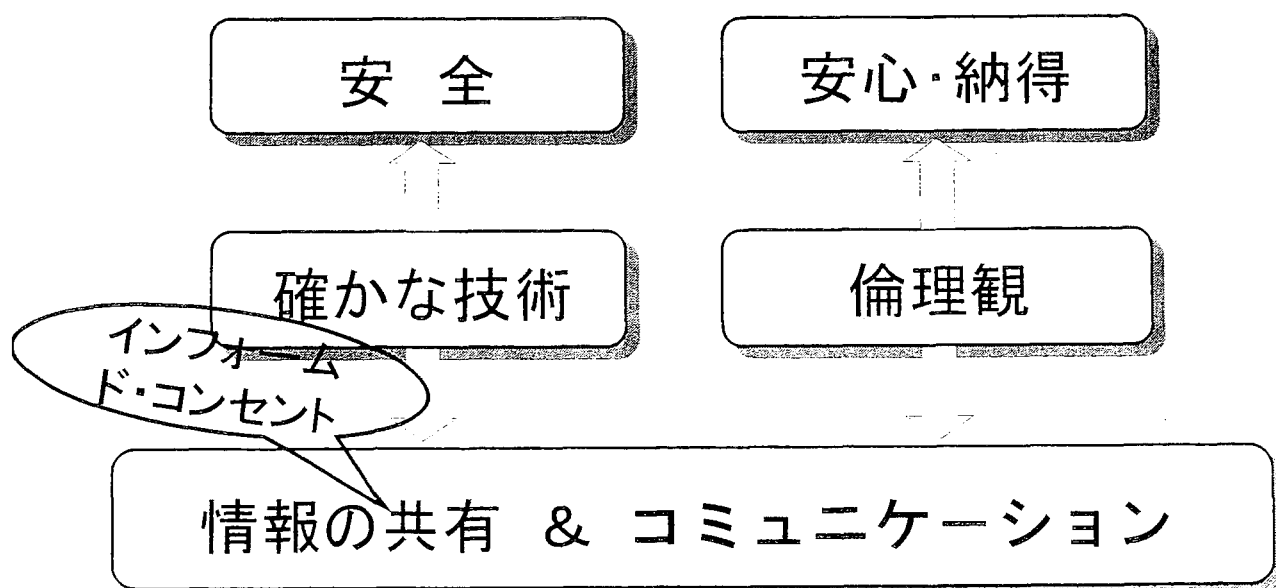
患者の“発達過程”



電話相談ニーズの世代間格差

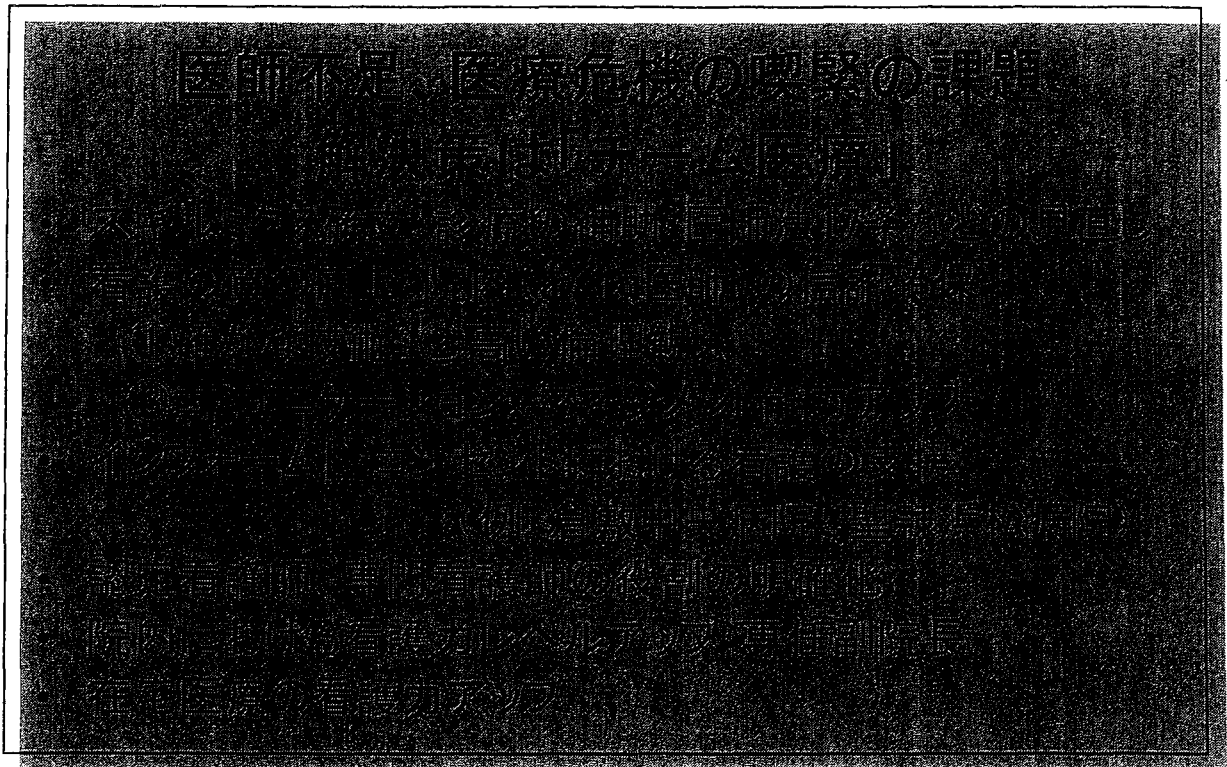


患者の基本的医療ニーズ



協働する人間関係を創造する

多様な価値観と世代・高齢社会が これからの看護に期待すること



看護教育への期待と要望

- 1 基礎分野(人間と生活・社会の理解)さらなる充実
例) 英語修得(看護実践からの学び)
地域研修枠の拡大など、自らを導く
- 2 専任教員の免許更新制、研修義務拡大
- 3 臨床実習の単位数増加
- 4 実習指導者の専任配置と指導研修強化
- 5 生活能力、言語能力、会話力、社会人としてのマナーを高める教育
- 6 卒後臨床研修早期実現